



阿見町町村合併 70 周年記念!

～あみっぺと振り返る阿見町の歴史～

令和 7 年度は、阿見町の町村合併 70 周年だよ!

今回は、平成 11 年 (1999 年) から平成 15 年 (2003 年) までの阿見町的发展を振り返るよ!
西暦 2000 年を迎える頃には、パソコンを使う人がだんだん増えてきたよ。阿見町でも町公式ホームページを開設。「インターネット」を利用した情報発信が始まった時代だね。
そして、都市計画道路やバイパスが開通し、交通の利便性が良くなってきたよ。
貴重な写真や資料を見ながら、デジタル化の第一歩を踏み出した阿見町と一緒に振り返ってみよう!

- 平成 11 年 3 月 『うしくあみ斎場』供用開始
いばらき森林クラブ・阿見町・茨城県の三者で森林整備協定締結
地域振興券交付
- 4 月 中郷保育所内に『地域子育て支援センター』開設
特別養護老人ホーム『阿見翔裕園』開設
- 7 月 景観条例施行
コンピュータ西暦 2000 年問題対策本部設置
- 8 月 全国中学校バドミントン大会で、阿見中が男子団体で 2 年連続銅メダル獲得
- 10 月 阿見中学校前歩道整備事業で、『まちづくりグリーンリボン賞』受賞
茨城大学農学部、創立 50 周年記念式典
- 11 月 **町公式ホームページ開設**
- 平成 12 年 1 月 『うしくあみ斎場』が ISO14001 を取得
- 2 月 圏央道、つくば市内で起工式、町内用地買収順調
- 3 月 『阿見の昔ばなし』発行
- 4 月 介護保険制度スタート
- 7 月 ごみ処理の一部有料化
高速バス (江戸崎始発・阿見経由) 東京駅行運行を開始
- 8 月 全国中学校バドミントン大会で、阿見中が男子団体準優勝、男子ダブルス優勝
- 9 月 県と『花ひらくまち推進委員会』の間で道路里親制度の契約調印
- 10 月 政治倫理条例施行
- 12 月 天皇后陛下が県立医療大学を視察にご来町
ポケットパーク『ふれあいスポッポットまい・あみ』協和発酵 (現 MC フードスペシャリティーズ) 前交差点に整備
- 平成 13 年 1 月 戸籍情報システム稼働し、戸籍業務の迅速化実現
- 3 月 阿見町消防本部緊急通信指令施設運用開始
- 4 月 情報公開条例施行
景観条例による景観形成道路の指定
総合運動公園町民球場完成
- 7 月 資源ごみの集積所回収開始
- 8 月 全国中学校体育大会陸上競技で、竹来中・渡辺竜二さん (400 m 走) 同・石引雅人さん (走り高跳び) がそれぞれ優勝
全国中学校バドミントン大会で、阿見中が男子ダブルス優勝
- 12 月 **国道 125 号阿見土浦バイパス一部、都市計画道路荒川沖・木田余線 供用開始**
阿見東部工業団地への進出企業第 1 号として、小川香料 (株) 立地決定



町では、コンピュータ西暦 2000 年問題に対する取り組みとして、7 月に「コンピュータ西暦 2000 年問題対策本部」を設置しました。
平成 11 年 9 月末には、住民生活に影響を及ぼすと考えられる重要なシステムについて、修正と模擬テストを完了しました。また、万一問題が発生した場合の住民生活への影響を最小限に抑えるため、「危機管理計画」を策定しました。



ここで初めて町のホームページができたんだね!



町公式ホームページ開設



総合運動公園町民球場

約 400 人の収容が可能な観客スタンド。『見る楽しみ』を存分に味わえるようになりました。観客席まではスロープが設けられ、車いす利用者にも配慮。電光スコアボードも整備された新球場は、多目的に利用できるよう設計され、野球グラウンド 2 面分の広さがあります。



国道 125 号阿見土浦バイパス (一部) 都市計画道路荒川沖・木田余線供用開始

平成 13 年 12 月 20 日、国道 125 号阿見土浦バイパス (一部) と、都市計画道路荒川沖・木田余線の 2 路線が同時開通しました。
町内の開通部分は、荒川沖から土浦市右碓に向かう主に住吉地区で、住吉の県道交差点では立体交差となり、土浦市やつくば市との行き来がしやすくなりました。



予科練史『阿見と予科練～そして人々のものがたり』

町の歴史的遺産である旧海軍航空隊や海軍飛行予科練習生 (予科練) の歴史を後世に伝えるため、町が平成 12 年 4 月から編さんに取り組んでいた『阿見と予科練～そして人々のものがたり～』が、発行されました。本は A4 版 374 ページの 6 章構成。予科練関係者など約 140 人の話や写真・地図・年表などを掲載。初版本は好評につき完売しました。

完売するなんて、みんなの関心が高かったんだね!





▲ 本郷ふれあいセンター

町民の皆さんの生涯学習とコミュニティづくりの場として建設され、平成14年10月1日から業務が開始しました。この施設は、集会室（多目的ホール）、図書室、会議室、和室、アトリエ、調理室等を備えています。



▲ かすみ公民館 文部科学大臣表彰

平成14年10月24日、かすみ公民館が優良公民館として文部科学大臣から表彰を受けました。この受賞は、地域に根ざした公民館活動として、各種同好会の育成・学習の支援、具体的には各種講座終了後の育成サポート・交流会や発表会等の活動支援・作品展示等が認められたものです。



▲ 国道125号阿見土浦バイパス全線開通

国道125号阿見土浦バイパスの未供用区間（阿見町阿見～土浦市右碕区間）1,727mが完成し、開通式典が行われました。この区間の開通により、国道125号阿見土浦バイパスは常磐自動車道桜土浦インターチェンジと直結することになり、生活はもとより地域の幹線道路として町の発展に大きく寄与しました。

- 平成14年 1月 君島・大形地区農業集落排水事業竣工 (2002)
- 4月 秋篠宮同妃殿下、県立医療大学を視察にご来町
- 予科練史『阿見と予科練～そして人々のものがたり』発刊。初版は即日完売
- 10月 『本郷ふれあいセンター』開館
生涯学習参加者500万人達成
- かすみ公民館が優良公民館として文部科学大臣から表彰
- 陸上自衛隊武蔵学校創立50周年
- 平成15年 1月 阿見東部工業団地（県企業局）造成事業完成 (2003)
- 3月 町体育協会40周年記念誌発刊
『島津児童館』・『埴保保育所』閉館
- 4月 『南平台保育所』開所
- 7月 個人情報保護条例施行
- 8月 国道125号阿見土浦バイパス全線開通
阿見東部工業団地で、茨城県・阿見町総合防災訓練実施
- 10月 マイアミショッピングセンター内に、『町民活動センター』開設
- 12月 第5次総合計画策定
定数削減（24人から22人に）

阿見町のルーツをさぐる ―新阿見町史編さんの現場から―



中世 掛馬の備蓄銭（阿見町掛馬）

今から33年前の平成4年、掛馬で民家の新築工事中に地中に埋まった大甕が発見され、その中に大量の古銭が入れられていました。出土した古銭数は116,996枚にもなりました。ほとんどが中国の古銭で、古いもので唐代の開元通宝（西暦621年初鑄）もありましたが、大半は北宋（11世紀中葉～12世紀前葉）から南宋時代（12世紀前葉～13世紀後葉）の古銭でした。また、日本古代の皇朝十二銭の一つである萬年通宝（760年初鑄）と富寿神宝（818年初鑄）も混じっていました。

古銭が入れられていた大甕は、14世紀前半に愛知県の常滑で焼かれた製品のため、その時代に掛馬に住んでいた富裕層が常滑産の大甕を購入し、銭貨を順次貯蓄していったものと思われます。当時国内では銭貨は鑄造されておらず、主に中国の銭貨や個人が鑄造した銭（私鑄銭）が物品の売買に使われていました。国内で本格的に銭貨が鑄造されて流通するのは江戸時代になってからです。

この時代、掛馬地区は隣接する島津地区と共に、霞ヶ浦を利用して物資を各地に運搬する舟の津（港）であった可能性があり、津に関連した有力商人や掛馬を支配していた在地の武士層が蓄えた銭であったと推定されています。

今後、備蓄銭と常滑産の大甕は、町民の皆さんが見学できるように準備を進めていく予定です。



▲ 大甕の出土状況（平成4年）



▲ 出土箇所周辺図

● 阿見町史編さん委員会事務局（阿見町教育委員会生涯学習課）
☎ 888-2526 E shogaigakushuka-ofc@town.ami.lg.jp

次は9月号通常版で
会おうね！
お楽しみに！

